

# 景況レポート

(6月分・情報連絡員80名)

消費税増税前の駆け込み需要の影響が

## 設備操業度・雇用人員のDIが急上昇

【概況】6月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが16.5%（前月調査13.9%）、「悪化」が36.7%（同43.0%）で、業界全体のDI値は-20.2となり、前月調査と比較して8.9ポイント上回った。前月と比較して在庫数量を除き全ての項目が改善し、設備操業度と雇用人員は10ポイントを超える改善が見られた。

内訳として、製造業全体のDI値は-9.4で前月調査（-25.8）と比較して16.4ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-27.7で前月調査（-31.3）と比較して3.6ポイント上回った。

鉄鋼など一部の業種で、消費税増税前の駆け込み需要と思われる動きが見られた。また、民間住宅でリフォームや新築工事が出てきたことから、木材・木製品や建設業にとって良い材料となり、前月比で設備操業度、雇用人員が好転している。

(回答数：79名 回答率：98.8%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☔	☁	☔	☔	☁
非製造業	☔	☔	☁	☔	☔	☁

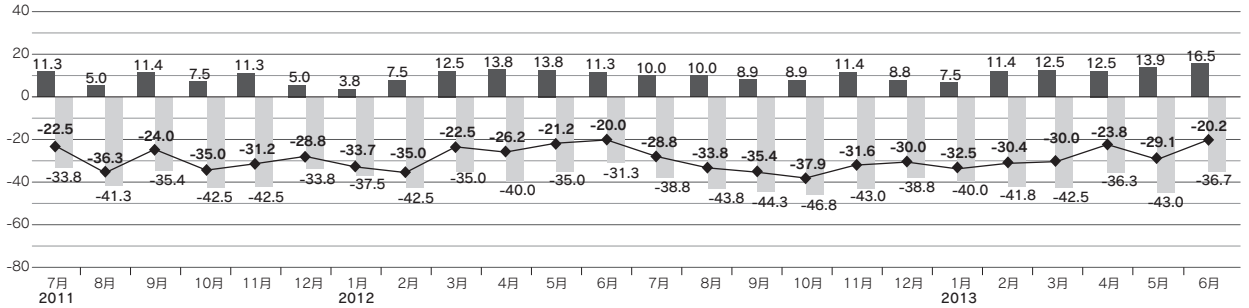
【凡例】

快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 10未満	雨 △30超 △30以下

【天気図の見方】  
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合〔前年同月比〕



### 業界の声

- 菓子製造** 梅雨だというのに毎日暑い日が続く、お菓子の売り上げは伸び悩んでいる。これから夏本番となるとさらに売上低迷が予想され、加えて、原材料等の価格の高騰により、厳しい経営状況が続くと思われる。
- 精穀・製粉業** 6月は気温の高い日が続いたため、売り上げが低迷した。円安による原材料価格の高騰が本格化し、収益も厳しい状況となっている。
- 繊維製品**
  - ・天候不順で受注量が減少した。単価も低下気味となっている。
  - ・円安の影響で海外生産分が国内に戻りつつあるが、発注はそれほど増えていない。
- プレカット** 保育園や、消費税増税前の駆け込み需要と思われる個人住宅の需要があり、フル稼働の状況が継続している。
- 外材** 6月の丸太輸入量は、米松材1船11,500立方メートルで、2ヶ月連続で1万立方メートルを超え、今月の外材の在庫量は先月よりも増加している。旺盛だった住宅建築需要は、依然、好調を維持しているが、一服感も漂ってきている。
- 鉄鋼** 消費税増税前の駆け込み需要なのか、5月下旬から2～3ヶ月先までの仕事を確保しており、工場稼働率も100%以上のところが大半である。
- 自動車販売** 6月の新車販売台数は、登録自動車が2,283台（前年同月比92.7%）、軽自動車が2,735台（同100.2%）で、合計5,018台（同96.6%）であった。
- 石油販売** ガソリン1ℓあたり149円50銭で前月比50銭の上昇、軽油1ℓあたり132円60銭で前月比30銭の上昇、配達灯油は18ℓで1,749円と前月比2円の低下と、価格は下げ止まったものの、収益が改善されず依然として苦しい状況。
- 商店街** 家電小売は雨の降らない暑い日が続いたためエアコンの販売が好調で、生花販売も前月に引き続き好調に推移したが、全体的に回復感はない。（秋田市）
- 一般建築** 消費税増税前の駆け込み需要で、民間のリフォーム、増改築・新築等で少し動きが見られる。国・県は15ヶ月予算で発注になったが、業界全体に仕事が行き渡るには至っていない。
- 電気工事** 消費税増税前の駆け込み需要で、住宅新設、リフォーム等電気使用申請の申込が増加し、前年同月比で売上は好転している。岩手、宮城への電工派遣が多く見受けられ、県内での人員が不足しているように感じられる。